

《愛の妙薬 L'elisir d'amore》 メロドラマ・ジョコーゾ 二幕

作曲年	1832年4月	
台本	フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani	
初演	1832年5月12日 ミラノ、カノッピアーナ劇場	
自筆譜	第一幕 ナポリ、国立音楽院図書館 第二幕 ベルガモ、ドニゼッティ博物館	
原作	ウジェーヌ・スクリーブ Eugène Scribe 『媚薬 Le Philtre』	
時代と場所	スペインのバスク地方の村	
初演の歌い手	アディーナ Adina	サビーネ・ハイネフェッター Sabine Heinefetter
	ネモリーノ Nemorino	ジャンバッティスタ・ジェーネロ Giambattista Genero
	ベルコーレ Belcore	アンリ＝ベルナール・ダバディ Henri-Bernard Dabadie
	ドウルカマーラ Dulcamara	ジュゼッペ・フレッツォリーニ Giuseppe Frezzolini
	ジャンネッタ Giannetta	マリエッタ・サッキ Marietta Sacchi



アレクサンドロ・サンクイーリコによる舞台デッサン

左から〈農場入り口〉、〈アディーナの家・農場の内部〉、〈農場の中庭〉

構成

第一幕 一本の大きな木がある農場の入り口。奥に小川と洗濯場のある田園風景。

前奏曲

No. 1 導入曲 I

- A) 導入部の合唱
- B) ネモリーノのカヴァティーナ
- C) アディーナのカヴァティーナ
- D) ベルコーレのカヴァティーナ
- E) 導入部のストレッタ

No. 2 レチタティーヴォと二重唱（ネモリーノ、アディーナ）

村の広場。片側に旅籠。

No. 3 合唱とドウルカマーラのカヴァティーナ

No. 4 二重唱（ネモリーノ、ドウルカマーラ）

- No. 5 レチタティーヴォとフィナーレ I
- A) ネモリーノのレチタティーヴォ
 - B) 二重唱 (ネモリーノ、アディーナ)
 - C) 三重唱 (ネモリーノ、アディーナ、ベルコーレ)
 - D) 四重唱 (ネモリーノ、アディーナ、ベルコーレ、ジャンネッタ、合唱)
 - E) フィナーレ I のストレッタ

第二幕 支度の整ったテーブルがある農場の内部。台のような上に兵士たちの楽団がいる。

- No. 6 導入曲 II
- A) 合唱
 - B) 舟歌
 - C) 合唱

- No. 7 レチタティーヴォと二重唱 (ネモリーノ、ベルコーレ)

農場の中庭。

- No. 8 合唱
- No. 9 四重唱 (アディーナ、ジャンネッタ、ネモリーノ、ドウルカマーラ、合唱)
- No. 10 レチタティーヴォと二重唱 (アディーナ、ドウルカマーラ)
- No. 11 ネモリーノのロマンツァ
- No. 12 レチタティーヴォとアディーナのアリア
- No. 13 レチタティーヴォとフィナーレ II

あらすじ

第一幕 - スペインとフランスの間にあるバスク地方の、アドゥールのある村 -

真夏の日差しのもとで、刈り取りをする農民や、洗濯をする女たちが休んでいる。若い農夫のネモリーノは片隅に座りながら、本を読むアディーナを眺めている。裕福な農場の娘で、わがままではあるが、賢く村人の信望もある彼女に、ネモリーノは心を寄せている。

村に駐屯部隊がやって来て、軍曹のベルコーレがすぐさま美しいアディーナを口説き始める。はらはらとその様子を見ていたネモリーノは、自分の思いを彼女に打ち明けるが、アディーナの態度は素気ない。そこへラッパの響きとともに、村の広場にいかさま薬売りドウルカマーラの馬車が到着し、彼は村人たちに奇跡を招く特效薬の口上をする。ネモリーノはドウルカマーラに頼んで、『トリスタンとイゾルデ』のような「愛の妙薬」を求める。一日で効果があると聞いたネモリーノは、明日にはアディーナが自分を好きになるだろうと信じて、実はワインであるその「妙薬」を飲み、ほろ酔いしている。今までにないネモリーノの自信に満ちた態度に対し、アディーナはあてつけにベルコーレからのプロポーズを受けて、6日後に結婚すると承諾してしまう。ところが急に部隊が翌日に発つことになり、ベルコーレはアディーナに今日中に結婚をと迫る。24時間以内に薬の効果があるだろうと余裕の態度でいたネモリーノは、思わぬ番狂わせに、アディーナに一日待って欲しいと哀願する。訳の分からぬ言動をするネモリーノに対し、ベルコーレは怒りまくる。

村人を結婚式に招待するアディーナとベルコーレ、歓喜に溢れる人々、一縷の望みをかけてドウルカマー

ラを必死に探すネモリーノ。アディーナがベルコーレとともに出て行く中、幕が下りる。

第二幕 - アディーナの家の中の農場の屋内 -

結婚の祝宴の準備がなされたテーブルには、アディーナとベルコーレ、ドゥルカマーラとジャンネッタが座っている。村人たちが歌い、喜びに湧いているが、その中にネモリーノの姿はなく、アディーナは気になる。

ネモリーノは今度はすぐにも効き目のある「愛の妙薬」を求めたいとドゥルカマーラに請うが、昼間買った薬代にお金を使ってしまい、支払いができない。失望していたネモリーノは、ベルコーレから兵隊に志願すれば、すぐにもお金が得られると教わる。アディーナの愛を得るためにネモリーノは迷わずサインをし、即金を得て、いかさま薬売りドゥルカマーラから、ふたたび「愛の妙薬」なる薬を購入する。

ネモリーノのおじさんが亡くなり、彼に莫大な遺産が入るといふ噂話を、ジャンネッタが村の娘たちとして語る。ネモリーノは突然娘たちに囲まれて言い寄られ、ちやほやされることに驚くが、さきほどの「妙薬」の効果だと信じ込む。一方アディーナは、ネモリーノが兵隊に身を売ってまでして薬を購入するほど、自分のことを愛してくれていたことをドゥルカマーラから聴き、ネモリーノの愛の深さに感動する。しかし、村の娘たちがネモリーノに競うように言い寄る様子に、彼女は苛立ちも覚える。アディーナはネモリーノの志願書を買戻し、彼に渡しながら故郷に留まるよう言い、そしてついにネモリーノに愛していると告げる。

アディーナとネモリーノが幸せに包まれる中、ベルコーレは彼女を諦め、部隊を率いて村を発つ。そしてドゥルカマーラも、彼の「妙薬」に頼らず自らの魅力でネモリーノの愛を得た、一枚上手な彼女に苦笑しつつ、村人からの感謝の言葉を受けながら、また奇跡の(いかさま)特効薬を売るために、別の村へと出発する。